

フォレストニュース

植林が地球を救う
平成24年(2012)11月10日
No. 59
発行 高津啓洋

地域環境セミナー【群馬】

晴天に恵まれた11月3日、群馬県のセミナールームで「地球温暖化防止講習会」が行われました。

NPO地球の緑を守る会（北関東：中島吉紀さん）の呼びかけで、前

橋市の群馬県庁会議室で、午後一時から五時まで、群馬地域の人を中心に17名の方が参加しました。

《プログラム》

*開会

*主催者挨拶 中島吉紀夫人

*講演「いのちを守る森づくり」

講師：地球の緑を守る会代表理事 高津啓洋

*野外活動

付近の森の探索とドングリ拾い

*茶話会

*閉会

《講演内容のまとめ》

地球生態系の仕組み、生産者⇒消費者⇒分解者のエネルギー循環を説明。近代化200年の副産物である環境汚染と地球温暖化で、現在の地球生態系が“末期癌”の状態にあることを説明、漠然とした不安でなく、“科学に裏付けられた危機感”を持ってもらうことを意識して説明しました。

その上で、市民の立場で今すぐできることとして、ドングリ拾いからポット苗作り、それを使っての地域



の防災環境保全林づくりまでの手順を説明。

結論として、NPOを立ち上げることにより、地域住民の「いのち・心・遺伝子」を守る森づくりを、いつでも、どこでも、誰でもが持続的な活動として展開できることを説明して講演を終わりました。

（報告 高津）

参加者の感想

T.Kさん（50才 女性）

「最近は何をやってもうつうつとして自らのやっている仕事すら面白くはなかったのに、久しぶりにこんな楽しいセミナーに出させていただき感動しています。早速昨日はドングリを拾い、ポットに植えました。この活動が単なる一時的な喜びに終わるのではなく、持続できるよう大勢の人に呼びかけていきたいです。」

T.Nさん（50才 男性）

「何気なく毎日を過ごして

いたが、自然はこんな風になっているのかと驚かざるを得なかった」。

湘南支部の立ち上げセミナー

おかげさまで、NPO地球の緑を守る会 湘南支部の立ち上げセミナーを行いました。

2008年、（故）中田育子先生との出会いではじめたポット苗育て。その後も継続して、植樹活動に参加してきましたが、今回は、私とまた協力者を得て、支部の立ち上げをしました。当日は、高津啓洋代表理事を迎えて、「地球温暖化防止のための講習会」、さらに「記念植樹祭」、「フィールドワーク講習会」を行うことによって、出発しました。

これからは高津理事長の指導のもと、母の協力も得て家族一丸となって、新しい段階へチャレンジしていきます。

（報告 奥平里美）

